お 知 ら せ

記者発表資料配布日	平成２５年　３月　８日

■同時発表先：島根県政記者会
出雲市政記者クラブ

～「尾原ダム水源地域ビジョン」の取組内容、役割分担等を審議する～

「第３回　尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催します

尾原ダムの水源地域が有する様々な資源と尾原ダムの積極的な活用等によって水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための行動計画（「水源地域ビジョン」）を策定するため、平成２４年９月２０日に、自治体、地域の方々、学識者、島根県、国土交通省で構成する「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立ました。

その後、第２回策定委員会及び具体的な検討を行う「さくらおろちを活性化する会」（４回開催）を開催し、とりまとめた５５の全体プロジェクトと４２の先行プロジェクト（1年目に取組むプロジェクト）等について、意見交換・審議してきました。

今回は、「尾原ダム水源地域ビジョン　全体内容」（案）と「湖面利用の手引き」（案）について、最終とりまとめ結果を審議いただく「第３回　尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催します。

記

日時：平成２５年３月１３日　（水）　１４：００～１６：００

場所：尾原ダム管理支所（島根県雲南市木次町平田２１１－５）※別紙参照

※傍聴・取材について：本委員会については一般の方の傍聴及び報道関係者の取材は可能です。

＜問い合わせ先＞

尾原ダムキャラクター「すさのおくん」

国土交通省　中国地方整備局　出雲河川事務所
副所長（技）　玉田（たまだ）　一雄（かずお）
【担当】管理第二課長　河野（こうの）　弘明（ひろあき）
０８５３－２０－１７５４（直通）

〒693-0023　島根県出雲市塩冶有原町5-1　電話：0853-21-1850（代表）
ホームページＵＲＬ：http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/

＜参考＞

※「さくらおろちを活性化する会」とは、委員会規約第3条6項「委員会は必要に応じて検討会や懇　談会等を　設け、意見・提案を受けることができる」を受け設置された会です。

※第１回、第２回委員会資料など尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は、http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/でご覧になれます。これまでの検討状況をまとめた「尾原ダム水源地域ビ　ジョンニュース」　（第1号～第6号）を参考に添付します。

※水源地域ビジョンとは：ダムを活かした水源地域の自立的､持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定る水源地域活性化のための行動計画です。

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会

第３回委員会

日時：平成 25 年 3 月 13 日（水）14:00～16:00
場所：尾原ダム管理支所　会議室

議事次第

１．開会

２．挨拶

３．出席者紹介

４．議　事

(1)「第 2 回委員会」以降の取組経過

1)第 2 回委員会委員意見への対応状況

2)「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定状況の報告

3)プロジェクトの体系化・内容（案）の報告

(2)尾原ダム水源地域ビジョン

1)先行プロジェクトの内容、役割分担（案）の審議

2)尾原ダム水源地域ビジョンの構成（案）の審議

3)広報の取組状況の報告

(3)さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き（案）の審議

(4)今後の予定

５．閉会

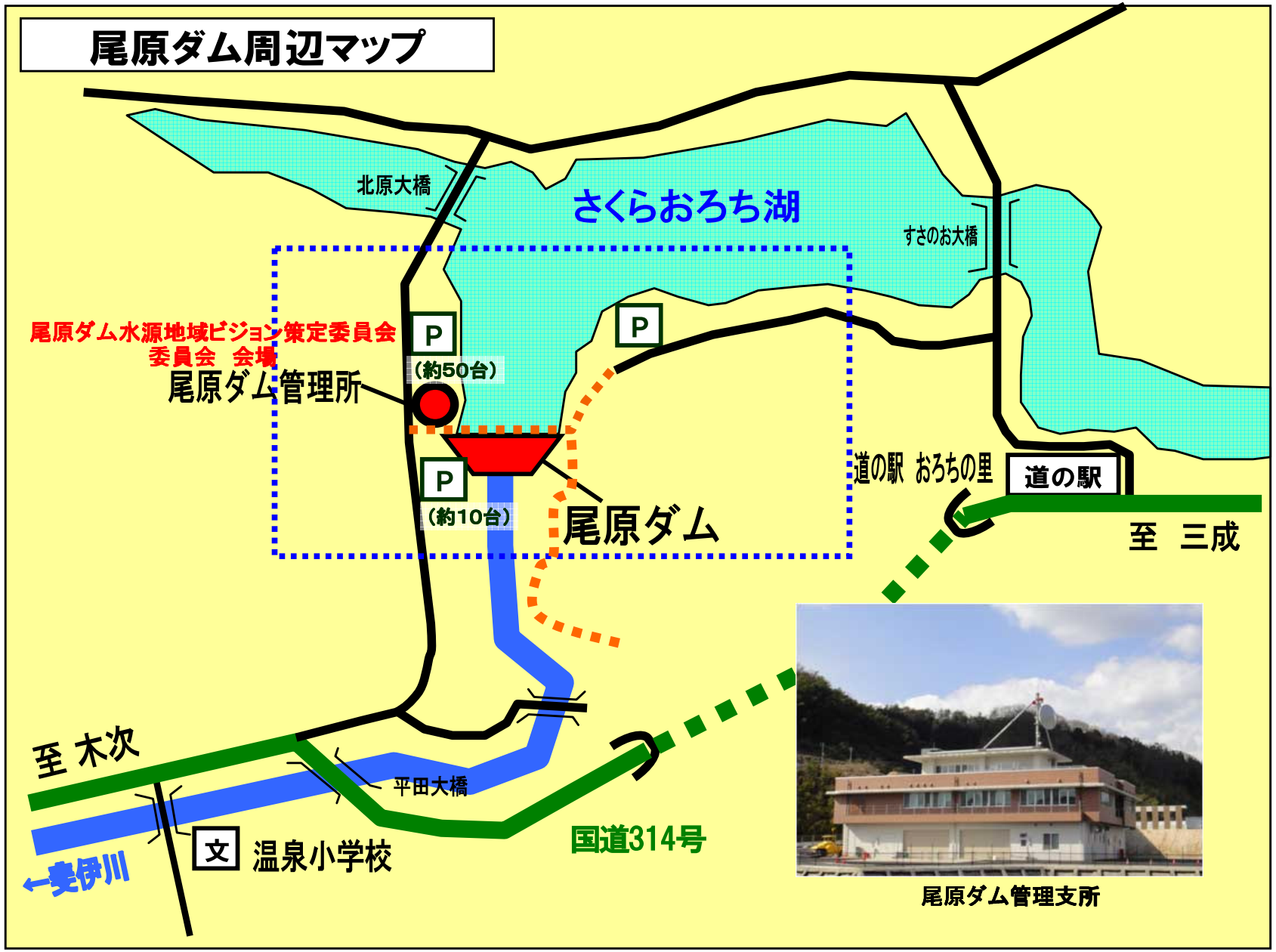
尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会委員

（敬称略）

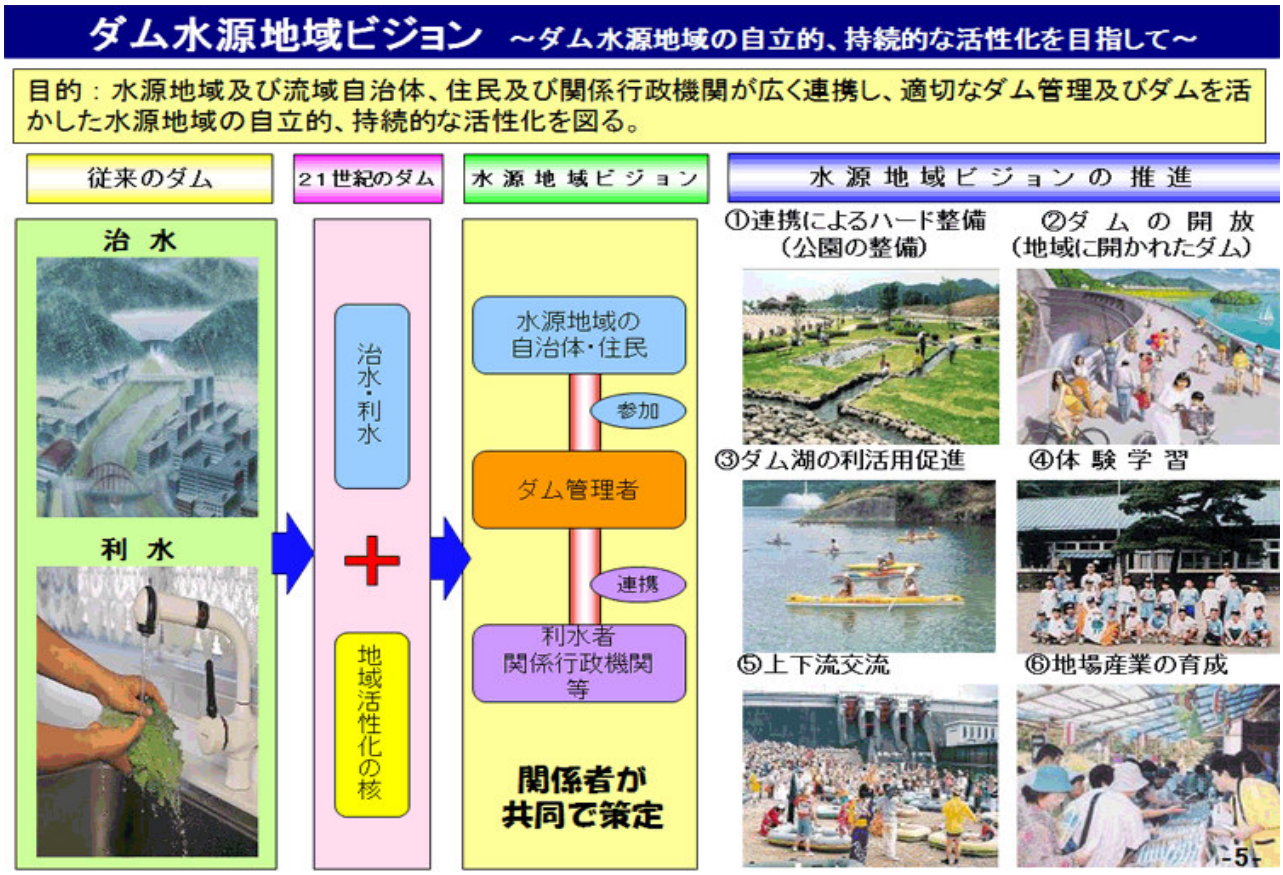
所　　属　　等	氏　　名	備　考
島根大学　教育学部 准教授	作野　広和（さくの　ひろかず）	
温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」 会長	勝部　博（かつべ　ひろし）	
NPO法人奥出雲布勢の郷 会長	中林　英清（なかばやし　ひできよ）	
雲南市 市長	速水　雄一（はやみ　ゆういち）	委員長
奥出雲町 町長	井上　勝博（いのうえ　かつひろ）	
島根県　土木部 斐伊川神戸川対策課長	天津　芳郎（あまつ　よしろう）	
島根県 雲南県土整備事務所長	植田　充弘（うえだ　みつひろ）	
国土交通省　中国地方整備局 出雲河川事務所長	舘　健一郎（たち　けんいちろう）	

別紙

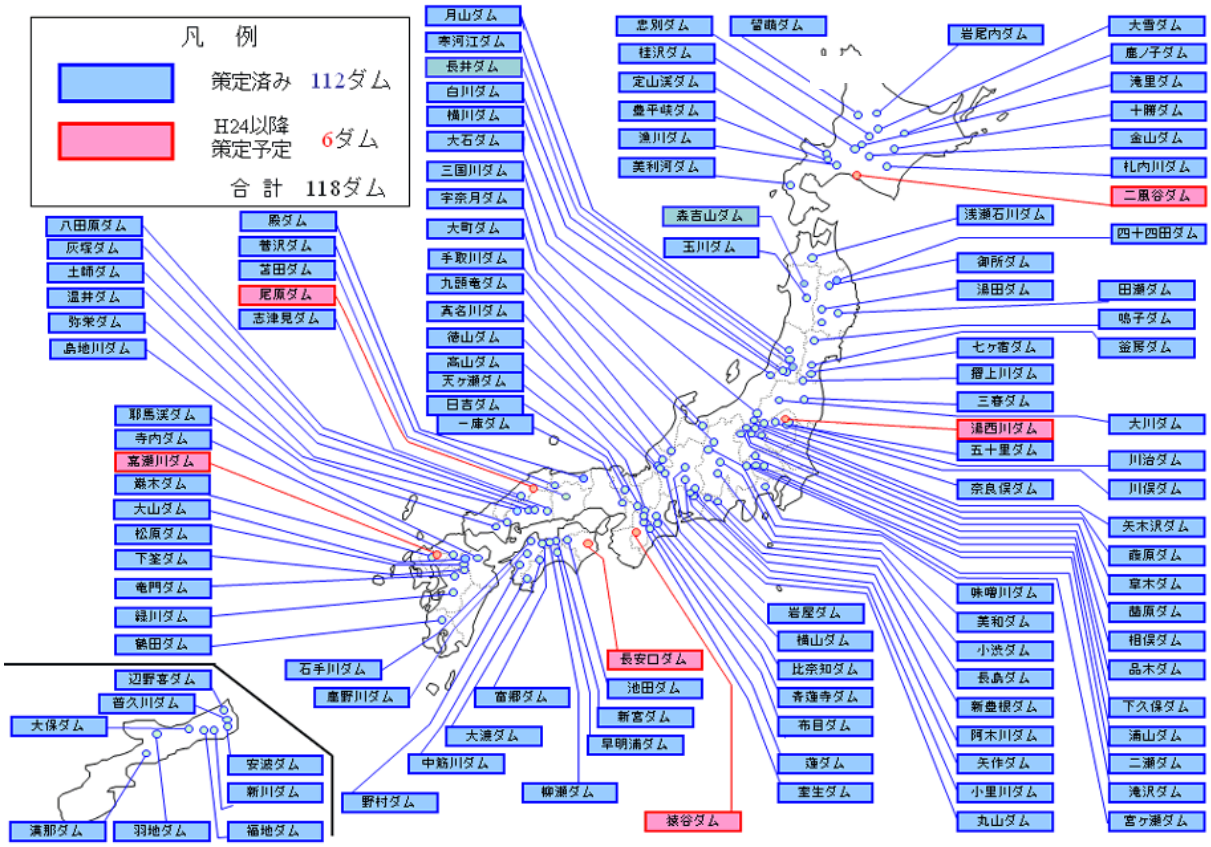
【委員会 会場案内図】


尾原ダム周辺マップ
北原大橋
さくらおろち湖
すさのお大橋
尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会
委員会　会場
尾原ダム管理所
P
（約50台）
P
P
（約10台）
尾原ダム
道の駅　おろちの里
道の駅
至　三成
至 木次
平田大橋
文
温泉小学校
←斐伊川
国道314号
尾原ダム管理支所

【参考】．水源地域ビジョンとは



水源地域ビジョンのイメージ図



水源地域ビジョンの策定状況（平成２４年３月現在 ）

尾原ダム水源地域 ビジョンニュース

創刊号（H24.9.24発行）

「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定がはじまりました。
このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしていきます。
地域の更なる活性化の主役は地域の皆さんです。一緒に取組んでいきましょう。

尾原ダムは、平成24年3月島根県雲南市木次町に完成し、地域の安全・安心の確保、河川環境の保全、水道用水の供給を目的として本格的に運用を開始しています。

■「尾原ダム水源地域ビジョン※」をつくります。

平成17年5月に「ダム湖と周辺地域が一体となった交流圏の形成」を基本理念とした『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』が策定され、ボート競技施設や自転車競技施設、道の駅、温泉施設などの周辺施設がほぼ完成し、積極的に活用されています。

今後は、これらの周辺施設を活かしながら、日常的な交流・連携を推進し、水源地域の更なる活性化を図っていく必要があります。

そこで、尾原ダム水源地域にある様々な資源と尾原ダムの積極的な活用等によって水源地域の自立的・持続的な活性化を図るための行動計画（尾原ダム水源地域ビジョン）を平成25年夏頃を目処に策定していきます。

▲尾原ダムとさくらおろち湖

※水源地域ビジョンとは：国土交通省と水資源機構のダムにおいて、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と協働で策定する水源地域活性化のための行動計画です。中国地方では、志津見ダム（島根県飯南町）、殿ダム（鳥取県鳥取市）、苫田ダム（岡山県鏡野町）をはじめ、10箇所のダムですでに策定されています。

◆水源地域ビジョンの特徴は？

- 地域を活かした計画です！　水源地域の良いところを活かした様々な活性化の取組が計画されます。
- 地域のみんなが主役です！　水源地域の活性化に向けた取組の主役は皆さんです。地域の皆さんが中心となる取組について話し合いながら、計画に盛り込んでいきます。
- みんなでつくります！　地域の皆さんと、水源地域の自治体、ダム管理者が共同して検討を進め、計画をつくっていきます。

■「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立しました！

平成24年9月20日（木）に「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立しました。委員長には、速水雄一雲南市長が選出されました。

委員会では、設立趣意、規約、策定手法、広報計画が承認され、続いて水源地域ビジョンの策定へ向けた意見交換が行われました。各委員から以下のような意見が出されました。

▲速水委員長のあいさつ

▲策定委員会の様子

【各委員の主な発言】

- 地域の方々との合意形成を図りながら水源地域ビジョンを策定していく。
- 上流域の各種団体あるいは住民組織が連携していく必要がある。
- 地域住民や関連団体が自ら策定したという手作り感が必要である。
- 下流域への広報も重要であるが、地元にも周知する必要がある。
- 平成17年に策定された『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』の内容を理解したうえで、検討していく必要がある。
- 作業部会のメンバーについては、広く意思疎通が図られるようなメンバー選定が必要である。
- 地域が豊かになるような、あるいは賑やかになるようなアクションプランにして欲しい。
- 上下流交流に力をいれて欲しい。
- 「尾原ダムならではとはなにか」を明らかにし、水源地域の潜在ポテンシャルを明確にしていくことが重要である。

今後は、地域の皆さんのご意見・ご提案をいただく作業部会（仮称）を開催しながら、水源地域ビジョンの検討を進めていきます。

次回委員会では、第１回策定委員会と作業部会（仮称）のご意見・ご提案をもとにした基本理念・地域の目標像・基本方針を報告し、具体的なプロジェクトについて意見交換を行う予定です。

【尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会 委員】

氏　名	所属・役職
作野　広和	島根大学 教育学部 准教授
勝部　博	温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」会長
中林　英清	NPO法人奥出雲布勢の郷 会長
速水　雄一	雲南市 市長（委員長）
井上　勝博	奥出雲町 町長
天津　芳郎	島根県 土木部 斐伊川神戸川対策課長
植田　充弘	島根県 雲南県土整備事務所長
舘　健一郎	国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所長

順不同、敬称略

編集後記

創刊号、いかがでしたか？　このニュースレターでは、尾原ダム水源地域ビジョンの策定状況を随時お知らせします。
一緒に、尾原ダム水源地域の未来を考えましょう。ご協力よろしくお願いします。

【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
・雲南市　ダム対策課
・奥出雲町　地域振興課
・島根県　雲南県土整備事務所
・島根県　斐伊川神戸川対策課
・国土交通省　出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。　http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/

尾原ダム水源地域 ビジョンニュース

第２号（H24.10.30発行）

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む
「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

第１回「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会(仮称)」※を開催しました！

※以下、「作業部会(仮称)」という

◆「作業部会（仮称）」を設立しました。

平成24年9月20日に設立した「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」へ、水源地域の活性化に向けた具体的な取組（プロジェクト）に関する意見・提案を行う「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会（仮称）」が設立されました。

この「作業部会（仮称）」のメンバーは、地域の皆さんや地域活動団体の方などを中心に、商工観光組織の関係者や教育機関の方など幅広いメンバーで構成されています。

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会 ⇄ 尾原ダム水源地域ビジョン作業部会（仮称）
（方向性の提示 →／検討内容の意見・提案 ←）

【尾原ダム水源地域ビジョン作業部会（仮称）メンバー】

区　分	参加団体・組織	
地域住民	平田地区自治会連絡会	
	尾原連合自治会	布勢地区自治会長会
	槻之屋連合自治会	三沢地区自治会長会
	湯村自治会連絡会	
	ダム湖の郷	
地域活動組織	温泉地区活性化対策協議会	とんぼの会
	ＮＰＯ法人ふる里雲南	ＮＰＯ法人布勢の郷
	ＮＰＯ法人さくらおろち	
商工観光組織	雲南市商工会	奥出雲町商工会
	ＪＡ雲南	
教育機関	島根大学	
行政機関	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	

◆第１回「作業部会（仮称）」での討議概要

初回である今回の「作業部会（仮称）」では、尾原ダム水源地域ビジョンの策定の背景や目的などを確認しました。その後、３グループに分かれ、尾原ダム水源地域への想い（「守りたい資源」、「活用すべき資源」）や、その想いを踏まえ、今後取り組んでみたいことなど、地域活性化に向けた意見交換を行いました。

意見交換では、水源地域の魅力の発見や再認識がなされ、参加メンバーの水源地域への想いが共有されるとともに、初回にもかかわらず具体的な取組の提案がされるなど、水源地域の活性化に向けた熱心な議論が終了時間まで続きました。

最後に、各グループ毎に意見発表をして頂き、第1回の作業部会を終えました。

日時　：平成24年10月23日（火）
　　19時00分～21時30分
場所　：国土交通省尾原ダム管理支所
参加者：29名

【主な意見・提案】

- 春は青葉、秋は紅葉、きれいな星空、こうした自然環境を守っていきたい。
- おいしい水、豊富な山菜や茸、仁多米など豊かな食文化を与えてくれる自然環境を守りたい。
- きれいな水を守りたい。そのためには油を出さない取組などを各家庭に広めていきたい。
- 緑豊かな森を守るためには、自然観察会や学習会などの意識啓発活動を進めることが大切である。
- 草刈りのボランティア活動など、地域でも自発的に周辺の維持管理を行うことが大切ではないか。
- 農地の景観保全のために色とりどりの花を植えるといいのではないか。
- 「さくらおろち湖」の湖面をボート競技だけでなく、シーカヤックなども使って有効活用したい。
- ダム本体やダム周辺に整備された様々な施設を活用して、地域外の人を呼び込みたい。
- スポーツ施設を活用したダム上下流の交流を進めるためには、利用手続きの簡素化など、柔軟な施設運営が求められる。
- 子供たちがのびのび遊べる自然環境を大切にしたい。
- 焼豆腐、米などの地元食材を使った料理を伝えていきたい。
- 神話の伝承地なので、地元でももっと神話の事を知ることが必要。神話教室などを開催してはどうか。
- 地域資源の保全と活用には、「継続」、「マンパワー」、全体を繋ぐ「ストーリー」が必要である。

次回は、今回の「守りたい資源」や、「活かしたい資源」、「取り組みたいこと」などについて追加意見を頂いた後、体系化を行い、具体的な取組（プロジェクト）をとりまとめていく予定です。

▲作業部会（仮称）の位置づけ、目的などの説明

▲意見交換・アイデアだしの状況

▲各グループのリーダーによる発表

編集後記　活発な意見交換ありがとうございました。グループで様々な人が意見交換することで、新たな発見や気づきがあったかと思います。この「作業部会（仮称）」の名称は、メンバーの方に提案をいただき、次回決定する予定です。

【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
・雲南市　ダム対策課
・奥出雲町　地域振興課
・島根県　雲南県土整備事務所
・島根県　斐伊川神戸川対策課
・国土交通省　出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。　http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/

尾原ダム水源地域 ビジョンニュース

第３号（H24.11.28発行）

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む
「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

第２回「さくらおろちを活性化する会」を開催しました

◆組織の名称が「さくらおろちを活性化する会」に決定しました。

「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会（仮称）」の名称を参加メンバー11名から提案していただきました。提案いただいた名称案をもとに第2回作業部会（仮称）で組織の名称を討議し、「さくらおろちを活性化する会」に決定しました。

◆「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定状況は、様々な媒体を活用して発信しています。

様々な情報媒体を用いて、尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会の審議内容（議事要旨・資料）及び作業部会の検討概要等を発信しています。

■ホームページ

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会での審議内容や資料を国土交通省出雲河川事務所HP上に専用コーナーを設け、広く水源地域ビジョンの策定状況を発信しています。

・ホームページ（専用コーナー）の立ち上げ：10月1日
・専用コーナーへのリンク設定（島根県土木部斐伊川神戸川対策課）：10月5日
・専用コーナーへのリンク設定（島根県雲南県土整備事務所）　：10月11日
・専用コーナーへのリンク設定（雲南市）　：10月11日

■公報

島根県や雲南市、奥出雲町が発行する公報を活用し、水源地域ビジョンの策定状況や策定スケジュールなど、水源地域ビジョンに関する情報を発信し、地域住民等の関心の喚起を目指しています。

・「市報うんなん」での掲載：11月15日
・「広報奥出雲」での掲載　：11月20日

■地域マスメディアの活用

尾原ダム水源地域を主な活動範囲とする地域マスメディア（雲南ケーブルテレビ、雲南夢ネットなど）に対し、水源地域ビジョン策定委員会の開催案内や実施内容を積極的に伝えていきます。

また、地元新聞社に対しても、開催案内などの情報を発信していきます。

◆取組（プロジェクト）の追加内容を出し合いました。

第２回「さくらおろちを活性化する会」では、前回の意見交換の結果を確認するとともに、守りたい資源や活かしたい資源、取組の追加意見・提案を出し合いました。

その後、具体的な取組を「プロジェクト」として位置づけ、３つのグループで熱心な意見交換を行いながら、各プロジェクトの目的や実施場所、具体的な取組などを詰めていきました。

提案されたプロジェクトは、景観を保全するための植栽や、各種イベントの企画・開催、大学生との連携など、多様な分野に広がっていました。

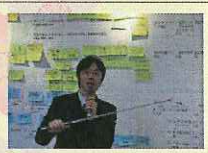
最後に、各グループの意見を全体で発表していただき、皆で意見を共有して第２回「さくらおろちを活性化する会」を終えました。

日時　：平成24年11月15日（木）
　　19時00分～21時30分
場所　：国土交通省尾原ダム管理支所
参加者：25名

▲取組（プロジェクト）の体系化や内容の説明

【主な意見・提案】

・ダム周辺道路の景観を守るためにも、周辺に繁茂するクズの対策を行っていきたい。
・水質保全と環境保全の啓発を兼ねてビオトープを整備したい。
・ダム湖周辺の景観を向上させるために、サクラやモミジの植栽を行っていきたい。
・人がくるダムになるよう、堤体のライトアップやイルミネーション、クレスト放流などを実施したらどうか。
・ダム本体や堤頂道路を活用したイベント（ロッククライミング、綱引き大会、ボウリング大会など）を実施していきたい。
・尾原ダムを活かした「日本一」を探し、挑戦してみたい。
・ダムのビューポイントの探索や、尾原ダムフォトコンテストを開催したい。
・ダム周辺の静寂さを活かした星空観察会などを開催したらどうか。
・道の駅を拠点としたレンタサイクルの実施を検討したい。
・さくらおろち湖とサイクリング施設を活用して、トライアスロン大会を開催したらどうか。
・島根大学や島根県立大学の学生と連携していきたい。



▲意見交換・アイデアだしの状況

▲各グループのリーダーによる発表

次回は、今回出していただいた具体的な取組（プロジェクト）の体系化と内容確認の後、プロジェクトの優先順位をつけるとともに、「先行プロジェクト（１年目実施）」を選び、そのとりまとめ様式を確認する予定です。

編集後記

グループでの意見交換を通し数多くの意見・提案をいただき、ありがとうございました。この地域が持つ可能性と今後の方向性が、見えてきたように思います。活発な意見交換をよろしくお願いします。

【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
・雲南市　ダム対策課
・奥出雲町　地域振興課
・島根県　雲南県土整備事務所
・島根県　斐伊川神戸川対策課
・国土交通省　出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。　http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/

尾原ダム水源地域 ビジョンニュース

第４号（H24.12.25発行）

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む
「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

第３回「さくらおろちを活性化する会」を開催しました

◆抽出された55個のプロジェクトの実施内容を確認しました。

第1回・第2回さくらおろちを活性化する会で抽出された取組（プロジェクト）の目的や実施場所、具体的取組などを事前にアンケート調査で意見を募るとともに、1つ1つ確認し、尾原ダム水源地域ビジョンに掲載すべき実施内容を確認しました。

◆55プロジェクトの優先順位と先行プロジェクト※を選定しました。

尾原ダム水源地域ビジョンとして実施するプロジェクトの内容を踏まえ、各プロジェクトの優先順位を右図のように検討しました。

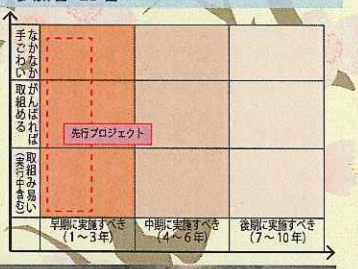
プロジェクトの優先順位の検討にあたっては、まず、事前に実施したアンケート調査の結果をもとに、先行プロジェクト（1年目に実施する取組）についての意見交換を行いました。その結果、55個のプロジェクト（案）のうち、40個を先行プロジェクト（案）として選定されました。

次に、先行プロジェクトとして選定されなかったプロジェクトを「取組みやすさ」と「目標時期」で評価し、早期に実施すべき施策（1～3年）、中期に実施すべき施策（4～6年）、長期に実施すべき施策（7～10年）の3つに分類しました。

最後に、先行プロジェクトのとりまとめフォーマットを確認し、第３回「さくらおろちを活性化する会」を終えました。

※先行プロジェクト：1年目から実施するプロジェクト

日時　：平成24年12月12日（水）
　　19時00分～21時30分
場所　：国土交通省尾原ダム管理支所
参加者：23名

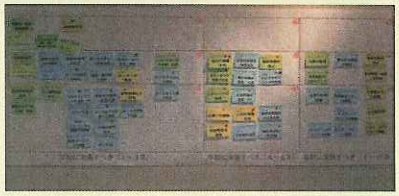


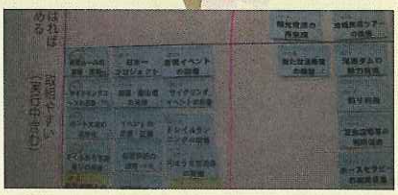
▲グループに分かれての意見交換の状況　【A班】

【B班】

【C班】

▲全体での意見交換の状況




▲プロジェクトの優先順位付けの状況

今後は、平成25年1月17日開催予定の「第2回策定委員会」で決定されたプロジェクト（案）のうちから先行プロジェクトについて、平成25年2月上旬頃開催予定の「さくらおろちを活性化する会」で1年目に実施すべき内容や実施主体、役割分担などを討議し、取りまとめる予定です。

編集後記

先行プロジェクトの選定に際し、ご協力いただきありがとうございました。選定されたプロジェクトの数の多さが示すように尾原ダム周辺地域では、既に活動な活動が実施されています。次回も活発な意見交換をよろしくお願いします。

【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
・雲南市　ダム対策課
・奥出雲町　地域振興課
・島根県　雲南県土整備事務所
・島根県　斐伊川神戸川対策課
・国土交通省　出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。　http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/

尾原ダム水源地域 ビジョンニュース

第５号（H25.1.29発行）

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

第２回「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催しました！

◆平成25年1月17日（木）に「第2回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を国土交通省尾原ダム管理支所で開催しました。

◆第2回委員会では、全委員の出席のもと

- ●尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念、地域の目標像、基本方針の報告
- ●尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト（案）の提案・審議
- ●尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期（案）の審議　など

について実施しました。

◆尾原ダム水源地域ビジョンの「基本理念」、「地域の目標像」、「基本方針」が「さくらおろちを活性化する会」での議論を踏まえ、最終版が報告されました。

◆尾原ダム水源地域ビジョンとして、５５のプロジェクト（既存１９件、新規３６件）が承認されるとともに、『先行プロジェクト（１年目から実施）』として４１件が承認され、２件が追加検討を依頼されました。さらに、先行プロジェクトの内容を記載するフォーマットも承認されました。

基本理念

斐伊川の源流をなす森や清流などの豊かな自然環境の恵み、魅力ある歴史文化などの地域資源、及び尾原ダム周辺の様々な施設等を、地域内・斐伊川流域圏の連携によって総合的に活用し、尾原ダム水源地域の自立的・持続的な発展を目指します。

地域の目標像

斐伊川流域圏の連携による尾原ダム周辺地域の自立的・持続的発展

基本方針

◆水源地域を結び、拓く
◆流域圏の恵みの源を守り、育む
◆さくらおろちの魅力を磨き、活かす

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト
水源地域を結び、拓く 水源地域の多様な関係者の結びつきによって取組の体制を充実し、地域の自立的・持続的な発展を拓いていきます。	Ⅰ.人材の活用	(1) 人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用、(1)-2 接客技術（おもてなしの心）の向上 (1)-3 教育機関（大学等）との連携
	Ⅱ.組織の整備	(2) 組織の整備	(2)-1 関連事業・組織との連携、(2)-2 リーダーの育成
	Ⅲ.企業との連携	(3) 企業との連携	(3)-1 企業との連携（CSR 活動）
	Ⅳ.斐伊川流域圏の連携	(4) 斐伊川流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援、(4)-2 上下流交流、(4)-3 流域圏交流
	Ⅴ.情報発信	(5) 情報発信	(5)-1 情報発信の促進（ホームページ、カレンダー、案内標識） (5)-2 フィルム・コミッションの推進
流域圏の恵みの源を守り、育む 斐伊川流域圏の暮らしや産業の恵みの源である水源地域の森や水などの自然環境を守り、育んでいきます。	Ⅵ.環境の保全	(6) 森林の保全・維持管理活動	(6)-1 森林の整備・管理、(6)-2 ボランティア活動の実施
		(7) 河川の水質の保全	(7)-1 水質の保全、(7)-2 ビオトープの整備
		(8) 生物の生息環境の保全	(8)-1 生息環境の保全（動物、植物）、(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策
		(9) 環境学習会等の開催	(9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホタル） (9)-2 体験プログラムの企画・開催（間伐・農業体験）
	Ⅶ.景観保全・整備	(10) ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり） (10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除、竹ポットの管理 (10)-3 ダム湖周辺の植栽（サクラ、ドウダンツツジ）
		(11) 農村や周辺の景観の保全・改善	(11)-1 農地保全の仕組みづくり、(11)-2 農村景観の向上（ミックスフラワー）
さくらおろちの魅力を磨き、活かす さくらおろち湖と水源地域が有する歴史、文化、自然などの資源を魅力として磨き、活かしていきます。	Ⅷ.自然環境の活用	(12) 森林の保全・活用	(12)-1 森林の利用促進（森林セラピー・森の保育園）
	Ⅸ.ダム周辺の既存施設の活用	(13) ダム本体の活用	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等） (13)-2 日本一プロジェクト
		(14) サイクリング施設の活用	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR（認定コース、ショートコース） (14)-2 レンタサイクルの実施、(14)-3 サイクリングコースの改善
		(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面利用の活性化（水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験） (15)-2 さくらおろち湖の魅力発信、(15)-3 釣り利用（PR・大会・施設整備）
		(16) 既存施設等の活用	(16)-1 芝生広場等の利用促進、(16)-2 農村研究施設の利用促進 (16)-3 ホースセラピーの利用促進、(16)-4 街道・登山道の活用（殿様街道、岩伏山） (16)-5 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等） (16)-6 新たな活用策の検討（星空観察会、ドックラン等） (16)-7 イベントの企画・立案（交流、花火等）
	Ⅹ.歴史・文化の継承	(17) 神話の継承・活用	(17)-1 出雲神話の活用・PR（マップ作り、関連ツアー）
		(18) 郷土料理の継承・活用	(18)-1 郷土料理の継承・活用（焼豆腐、イノシシ料理等）、(18)-2 モニターツアーの開催
		(19) 地域文化の継承・活用	(19)-1 古民家の活用
	Ⅺ.新たな魅力・資源の発掘	(20) 新たな魅力・資源の発掘・活用	(20)-1 温泉の活用（スタンプラリー）
		(21)「地域全体」の発掘・活用	(21)-1 観光資源の再整理、(21)-2 地域体感ツアーの開催
		(22) 漁業資源の育成と活用	(22)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流）
		(23) 特産品の開発・販売	(23)-1 特産品の開発・販売促進
	Ⅻ.交流イベント（既存）の開催	(24) 湖面イベントの開催	(24)-1 ボート大会の活性化
		(25) 湖畔イベントの開催	(25)-1 音楽イベントの開催、(25)-2 サイクリングイベントの開催 (25)-3 さくらおろち湖祭りの開催
		(26) 周辺イベントの開催・継続	(26)-1 そばうち交流会の開催、(26)-2 トレイルランニングの開催

※赤字：先行プロジェクト

▲策定委員会の様子

編集後記

２月初旬開催予定の「第４回さくらおろちを活性化する会」では、本委員会で承認された「先行プロジェクト」の内容（取組事項、実施主体、役割分担など）を議論する予定です。

【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
・雲南市　ダム対策課
・奥出雲町　地域振興課
・島根県　雲南県土整備事務所
・島根県　斐伊川神戸川対策課
・国土交通省　出雲河川事務所管理第二課

尾原ダムキャラクター「すさのおくん」

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。　http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/

尾原ダム水源地域 ビジョンニュース

第6号（H25.2.13発行）

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む
「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

第４回「さくらおろちを活性化する会」を開催しました

◆先行プロジェクト※ごとの取組事項や役割分担を討議しました。

第2回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会（平成25年1月17日開催）で審議・決定された先行プロジェクト（1年目に取組むプロジェクト）について、実施内容や実施主体、役割分担などを検討するために「さくらおろちを活性化する会（以下、「活性化する会」という。）」を開催し、「先行プロジェクト実施計画表（案）」を作成しました。

案作成にあたっては、事前に活性化する会メンバーにアンケート調査を実施し、関連する行政機関での調整を踏まえた「先行プロジェクト実施計画表　事務局修正案」を提示し、討議を行いました。

今後は、3月中旬開催予定の「第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」で審議いただくこととしています。なお、最終とりまとめは平成25年夏頃を予定しています。

※先行プロジェクト：1年目に取組むプロジェクト

日時　：平成25年2月6日（水）
　　19時00分～21時30分
場所　：国土交通省尾原ダム管理支所
参加者：19名

▲活性化する会の開催状況

▲事務局からの説明の様子

▲意見交換の様子

【先行プロジェクト実施計画表】

◆内容（全体）
　プロジェクト全体として実施すべき内容を記載します。

◆1年目に取組むべき事項
　プロジェクト全体のうち、「1年目に取組むべき事項」を記載します。

◆実施主体
　1年目に取組む事項の実施主体を記載します。なお、新規に実施するプロジェクトのうち、実施者が決定していない場合は実施段階で検討していきます。

◆実施項目と役割分担
　プロジェクトを推進していくために必要な項目と役割分担を記載します。

◆関連プロジェクト
　プロジェクトを推進していく上で関連するプロジェクトを記載します。

◆『さくらおろち湖周辺及び湖面利用の手引き（案）』、『同ハンドブック（案）』をリニューアルします。

さくらおろち湖を快適にご利用いただくために、施設管理者等からなる「尾原ダム周辺施設管理者調整会議準備会」を開催し、平成24年4月13日に「さくらおろち湖周辺及び湖面利用の手引き（案）、同ハンドブック（案）（以下、「手引き（案）という。）」を策定・公表※し、試行しているところです。

平成24年度の試行状況等（利用の実態や利用者等の意見）や水源地域ビジョンのプロジェクトの内容と整合を図った改訂方針を提示し、意見交換を行いました。

※手引き（案）は、尾原ダム管理支所での配布や、尾原ダム管理支所ホームページで公表しています。

▲さくらおろち湖周辺及び湖面利用の手引きハンドブック（案）

編集後記

先行プロジェクトについて「1年目に取組む事項」や「役割分担」等の検討に際し、アンケート調査等のご協力をいただきありがとうございました。次回の第3回委員会で「尾原ダム水源地域ビジョン」の全体内容をとりまとめる予定です。

【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
・雲南市　ダム対策課
・奥出雲町　地域振興課
・島根県　雲南県土整備事務所
・島根県　斐伊川神戸川対策課
・国土交通省　出雲河川事務所管理第二課

尾原ダムキャラクター「すさのおくん」

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。　http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/